2025 年度

SGT　活動レポート

農業体験講座
第 6 回　棚田ツアー

9 月 27 日（土）に第 5 回農業体験講座を、静岡市の清沢にある棚田で実施しました。中学生 1 名、高校生 9 名、合わせて 10 名が参加しました。当日は曇り空で農作業をするにはちょうどよい気温でした。棚田はすっかり稲穂が黄金色に輝いており、10 月の収穫を待つばかりといった様子でした。棚田にはさまざまな種類の稲穂が植えられていますが、ひときわ目立つのは、緑米です。一見すると稲穂が真っ黒に見えますが、実は濃い紫色で脱穀し精米すると緑色の玄米が姿を現します。この米は、縄文時代に中国から伝わった古代米で収穫量も少ないのですが、ここではよく育っています。

今回は、夏の間に伸びきった田の水路の草刈りをして水の流れを目視できるようにし、合わせて水の通りをよくするために水路を鍬やスコップを使い整備します。まず塾長から作業手順について説明を聞き、5 人ずつに分かれて作業をします。上段の田んぼと下段の田んぼでは水の通りも違い、上段の田は大きく伸びた杉の木の陰になることもあるせいか、下段の田と比べると草の丈も低く草刈りには苦労しませんでしたが、取水口からの距離が近く水の勢いも強いせいか土が堆積していました。これを取り除いて下段の田に水が流れていくようにします。一方で下段の田は日当たりもよいせいか草もより成長しています。今年の夏は、各地で水不足が心配されましたが、清沢の棚田は全くといっていいほど水不足に悩まされることもなく絶えず水が流れていたため稲も順調に育ちました。また一部、鹿による食害で上段の田の葉が食べられてしまいましたが、8 月に設置した害獣除けのための電気柵やピンク色のテープや防獣ネットも猪や鹿の侵入を防いでおり、このまま順調に 10 月まで成長してくれば多くの収穫が見込めそうです。

草刈りをしていると、彼岸花が咲いているのを見つけました。この花は球根のような根を持ち、毒がありますが戦中・戦後の食料不足の際は、毒抜きをして食べたそうです。また棚田では無農薬で稲を栽培しているため、山から流れる水が溜まる場所にはクレソンが自生しています。春と秋に新芽が生えるそうですが、水炊きにすると美味しく食べることができるそうです。そのほかにも朴葉の木があり、朴葉味噌を焼く時の下敷きに使えます。里山の恵みを忘れてしまった現代人にとってこれらは貴重な恵みです。

次回は、10 月 25 日(土)です。脱穀を予定しています。収穫が楽しみですね。

塾長から本日の作業について、説明を聞きます。

稲穂が黄金色に輝いています。今年は豊作です。

草刈りをして水の流れを目視できるようにします。

鍬とスコップを使い、水が流れるようにします。

緑米です。一見すると黒く見えますが、濃い紫色です。

彼岸花が咲いています。誰かが植えたのでしょうか。

クレソンが自生しています。水炊きにすると美味しいそうです。

脱皮した蛇の皮がありました。財布に入れるのでしょうか。

水路がきれいに整えられていきます。

草がきれいに刈り取られて水路の縁を整えます。

水路の縁を作るために田の外から土を集めます。

水路の縁がきれいにできあがりました。